



みんなのために頑張ってくれました

R7.6.4(水)
ひまわり組

毎月『安全の日』の活動として子どもたちと安全について話をしています。どうしたら安全に遊べるだろう？と自分たちの行動を振り返ったり、考えたりする姿が見られます。今日は、安全の日ではなかったのですが、保育者たちが今困っている駐車場の瓦チップの話をしてみました。

保育者：「駐車場の瓦チップがいつも飛び散っていて困っているのだけど…」

子：「じゃあ、ひまわりさんがやっけてあげる！」

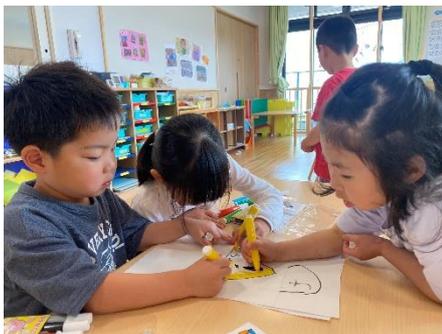
「遊んでいる子みたことある！」

「駐車場で遊ぶと危ないよね」

「ダメだよって言ったことあるけど、やめなかった…」

子どもたちから瓦チップのところでは小さい子が遊んでいる姿を見たことがあることや、保育者たちが困っていることを知り、一緒に瓦チップを拾ってくれることに！瓦チップを拾いながら「もっとわかりやすい場所に看板置いたらいいんじゃない？」「カメラつけたら？」とアイデアが止まらない様子でした。「また散らばったら拾ってあげる」と優しい声もありましたよ。作った看板は、明日子どもたちと一緒に設置する予定です。

看板の場所を変えてはどう？



看板に書く言葉は、どうしたら気付いてもらえるかを考えて決めましたよ！



子どもたちが頑張った作った看板です。ひまわり組の思いが小さい子たちに届きますように☆彡